

「教訓」および「提言」

評価で得られた教訓および提言を開発途上国や当行内部にフィードバックし、将来の事業の効果的・効率的な実施に役立てています。

「教訓」とは評価対象事業から得た類似事業に適用できる事項を、また「提言」とは評価対象事業の改善に役立つ事項を指します。個別評価の結果得られた教訓および提言は、開発途上国や当行内部へのフィードバックを通じ、将来の事業の効果的かつ効率的な実施に寄与しています。2004年度の個別評価(40件)のうち17件

で教訓および提言がなされました。教訓および提言は、事業計画、案件監理、運営・管理等多岐にわたっており、多くの場合、実施機関もしくは当行に追加措置が求められています。ここでは、その一部を紹介するとともに、タイ「地方幹線道路改良事業(1)(2)」を事例としてとりあげ、教訓および提言が出された背景も併せて紹介します。

主な教訓および提言一覧

No.	国名	事業名	教訓および提言
11	インドネシア	「園芸作物開発事業」 (総合評価:B)	園芸作物栽培に携わる農民に参加意欲を与え、さらなるモチベーションの向上を図るため、実施機関は地方政府の協力を仰ぎ、定期的な作物見本市、農民グループの好事例を紹介する全国コンテストの開催等の機会を積極的に提供することが望ましい。
17	フィリピン	「産業公害防止支援政策金融事業」 (総合評価:A)	本事業では、中小企業向けの融資件数は大企業に比較して少なくとどまっている。中小企業の環境投資ニーズの掘り起こしとリボルビング・ファンドの有効活用につながるよう、実施機関は、今後も全国の商工会議所等との連携を図り、啓発と普及活動の強化継続が望まれる。
29	パキスタン	「機関車工場建設事業」 (総合評価:D)	パキスタン国鉄は、公社化および運営への部分的な民間参入等の経営改革を着実に進め、長距離・大量貨物輸送における鉄道が占める割合の回復に焦点をあてた市場調査を実施したうえで、複線化や新型車両導入等の鉄道施設整備を進める必要がある。
38	コロンビア	「アグアブランカ上下水道整備事業」 (総合評価:C)	下水処理場のいっそうの有効利用およびカウカ川の汚濁防止に貢献するため、カリ市は住民による雨水管への違法接続に対する取り締まり強化や、汚水管へのゴミ投棄を抑制するためのゴミ収集システムの改善および住民への啓蒙活動を実施する必要がある。

3 タイ「地方幹線道路改良事業(1)(2)」に対する教訓および提言

本事業では、輸送容量の増強および交通渋滞の緩和を目的とし、タイ中央部および南部において主要国道の拡幅整備を実施した。本事業の結果、走行費の節減が実現され、物流の阻害要因が解消し、「沿線地域における木材加工、ゴム加工、海産物加工、観光等の振興に貢献した」との意見が沿線企業から聞かれた。反面、本事業による道路拡幅により、歩行者の道路横断が困難となっている箇所があり、必要箇所には歩道橋等を建設して地域住民の利便性を確保すると同時に、今後、類似事業を実施する際には、計画・実施段階において公聴会等の機会を設け、地域の状況、住民のニーズに配慮することが望ましい。(総合評価:A)



本事業により拡幅整備された国道